

米沢有為会 東京支部だより

vol.17

発行/公益社団法人 米沢有為会東京支部 発行人/米野宗禎 発行日/平成26年12月25日
〒182-0004 東京都調布市入間町1-36 東京興議館内 TEL/FAX 03-3309-3302

東京支部ホームページ http://www.yonezawa-yuukai.org/tokyo_shibu/



キャロライン・ケネディ大使(右)
夫のエドウィン・シュロスバーク氏(中)
上杉家17代当主の上杉邦憲氏(左)

米国大使館公邸でのレセプションにて

平成26年9月27日 伝国の杜にて

1969年7月20日、JFKが亡くなった翌年の1983年であり、アポロ11号の月着陸は

米沢藩の借金が完全になくなったのは、鷹山公が亡くなった翌年の1983年であり、アポロ11号の月着陸は

長い年月をかけて藩の立て直しを図った鷹山公と人類初の挑戦を行ったJFK、目的は違っても、その燃える心には共通したものが感じられます。そして偶然ながらこの二人とも、その成果を見届けることなく亡くなっています。

それが事実かどうかはともかく、鷹山公の有名な言葉「為せば成る。為さねば成らぬ何事も。成らぬは人の為さぬなりけり」と同じ意味のことをJFKが述べています。それは1961年1月大統領就任演説で「10年以内に月へ人を送り、無事に地球に戻す」と宣言した際の言葉「それは易しいからやるのではない。難しいからこそやるのだ」です。

「歴史と宇宙を繋ぐ」 キャロライン・ケネディ米国大使とお会いして

米沢有為会 名誉会長
上杉 邦憲

が凶弾に倒れてから6年後のことでした。けれども、この二人の言葉は消えることなく、私たちにかくあるべし、という道を示してくれているように思えます。

このキャロライン大使の来日最初のスピーチに呼応して「大使を米沢にお呼びしたい」という米沢市民の熱意と努力が遂に報われる日が来しました。平成26年9月27日、秋祭り賑わう、伝国の杜にお出でになった大使は、熱狂する3000人余りの歓迎の人々を前に「父は『1人でも世の中を変えることができる』とよく話していました。しかし上杉鷹山ほどこのことを端的に言い表した人はいません。それは『NASEBA NARU!』と話されました。

この後、キャロライン大使と少し話をする機会がありましたので、(有為会誌64号に書いたように)前から大使に是非伝えたいと思っていた「アポロ月着陸の7月20日は、(旧暦ですが)鷹山公のお誕生日でした。」と伝えました。大使は「歴史と宇宙との不思議なつながりですね」と喜ばれました。

それから半月ほど経った頃、アメリカ大使館からメールが来ました。「日米の宇宙協力を記念して、レセプションを開催しますのでお越しください」という招待状でした。

オバマ大統領がそのことを知っていて、この日を選んだのかどうか、もう一度大使にお目にかかる機会があれば、ぜひ伺ってみたいと思っています。

歴史と宇宙についての日付に関してもう一点、彼女がオバマ大統領から駐日大使に指名されたのは昨年の7月24日でしたが、この日はアポロ11号が無事に地球に帰還した記念日でした。

そして11月6日、米国大使館公邸でのレセプションで、キャロライン大使に再度お目にかかる光栄に浴することが出来ました。既に宇宙活動の一線からは引退した小生を「歴史と宇宙を繋いだ」友人として遇って戴き、あらためて米沢にお出でいただいたことへの御礼を申し上げることが出来ました。

歴史と宇宙についての日付に関してもう一点、彼女がオバマ大統領から駐日大使に指名されたのは昨年の7月24日でしたが、この日はアポロ11号が無事に地球に帰還した記念日でした。

郷里の味を満喫

東京支部 園遊会 11月1日 於・小石川後楽園 涵徳亭

今年の園遊会は、小石川後楽園の涵徳亭で十一月一日に開催されました。天気は雨模様で少し肌寒い気温でしたが、当日の欠席者はなく安心しました。後楽園の紅葉を見る人は少なかつた。定刻に林常子諮問員の司会で始まりました。米野宗禎支部長が開会の挨拶をされました。県民歌「最上川」を斉唱しました。

ご来賓の上杉邦憲名誉会長と須貝英雄会長より祝辞をいただきました。支部長より清野能昭山形育英会理事の紹介がありました。下條泰生名誉会員の音頭で乾杯をして懇談会に入りしました。今年の新入会員の板垣史朗様・井上麻矢



林さんの司会で会場も和気あいあい！



故郷の懐かしい品々！即完売！！

様・竹俣祐良様・宮島誠夫様の四人から自己紹介してもらいました。久しぶりに若い会員を三人も迎える事が出来ました。支部活動の活性化のためにも嬉しい事です。山形の地酒やワインを味わいました。米沢から材料を取り寄せた芋煮や玉こんにゃくの味はいかがだったでしょうか。郷里の物産の販売は、抽選会などでもお世話になってる実行委員の澤田美根子様を中心にやってくださいました。昨年の反省から菓子類を減らし、売れ筋の「鯉の甘煮」や「ワイン」などの品物を増やしました。御蔭で、完売でした。お楽しみの抽選会では、最



おいしいでしょ！おかわりをど～ぞ！

後の一等賞は樋口正宏様が獲得されました。その後、全員で唱歌「ふるさと」を斉唱しました。沼澤研一副支部長の閉会の挨拶と一本締めで散会しました。今年の園遊会の特色は、会員の同伴者が十六名もあつたことです。学生諸君は学園祭と重なり参加人数が少なかつた。新入会員の板垣史朗様より来年の実行委員の快諾を得ました。実行委員の皆様ご協力有難うございました。

(催事担当 川合)



切磋琢磨の寮生活

東京興譲館寮館長 川合勝雄

2年続けて長井高校の保護者会で寮生募集の説明をさせていただいたが、ともに応募者は零でした。少子化で子供の数が減っています。

今から四十数年前に私達団塊の世代が大学に入学する頃に比べると社会は格段に豊かになりました。学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金も借りやすくなっています。学生の地元国立大志向があり都内の大学志望者が減っています。民間業者も学生寮の運営に乗り出しています。仕送り金額の減少の対策のために私立大学も学生寮を建設しています。

現役の高校生は人間関係が煩わしいと学生寮を敬遠しています。兄弟の数も少ないので親が子供の希望に応じて仕舞うのです。寮費が2食付きで割安なことから入寮している学生も多い。親の負担を軽くするために奨学金だけでは不足なのでコンビニ・レストラン・塾講師等でアルバイトしている学生が増えています。応募条件の緩和により置賜地方以外の学生が5名入寮しています。これからは、いままで入寮していない高校にも寮生募集の説明会をしていきます。

い。学生は就職活動に長期間かなりのエネルギーを使っています。各分野で活躍されている東京支部会員の方に就職アドバイザーになっていただいてサポートして頂きたい。有為会総会の懇親会後に上杉邦憲名誉会長より、先代が世田谷に女子学生寮をつくったが寮母がトラブルを起こしうまうまかかったと話された。先日南陽高校に寮生募集の説明会に行ってきたが、大学進学希望者は女子生徒の方が多かつた。米沢有為会の課題と思います。

米沢藩十三代上杉茂憲公は第二代沖繩県令として育英事業にも尽力されている。その縁で米沢と沖繩の子供たちの交流がなされています。これからはアジアの時代とも言われています。寮の空室の有効利用として沖繩県出身の学生やアジアの留学生である程度日本語が理解できる学生に門戸を開く事も考えられる。置賜地方出身の学生をメインとしながらも夢や希望を持って都内の大学で学びたいと思う山形県以外の学生の入寮を認めていきたい。そのためには部屋の改修工事が必要だと思います。

第12回 文化大学

9月13日(土)
於・東京興譲館

米沢高等工業の戦中戦後(吉本隆明の学生生活)

山形大学基礎教育院教授 山本陽史

先日他界した、思想家、吉本隆明は、戦中、米沢高等工業の学生として米沢で青春を送った。彼は「米沢」はどのように見えていたのか、興味深いお話しでした。

▼講師プロフィール

昭和34年和歌山市生まれ。現在山形大学基礎教育院教授。専攻は江戸時代を中心とする日本文学・日本文化論。近著に『日本語再入門』『藤沢周平と山形』等
趣味はトランプ・ペット演奏。日本アマチュアブラスアンサンブル組織(NABEO、ナベオ)代表(1987~2013)、日本トランプ・ペット協会常任理事



明治二十二(一八八九)年に日本で初めて市制が施行された時、米沢も市となった。その時の人口は二万九千五百人あまりで、全国三十二位、秋田市・山形市よりやや多い人口であった。一方仙台市は人口九万人であった。仙台は人口八位で、当時でも大都市といつて良いだろうが、現代と比べれば米沢と人口規模にさほど差が無い。
明治三十九年、仙台に日本で六番目の高等工業学校(のちの東北大学工学部)が開校された。仙台の町を拓いた伊達政宗の生誕地であり、その後名門上杉家の城下町であった米沢の人々は仙台に対抗心があつたはずで、大きな刺激を受けた。
仙台の次は米沢だ、ということ、熱心な誘致運動が繰り広げられたのである。

明治四十三年に開校された米沢高等工業学校は、近代日本の工業界を支える多くの人材を輩出する人材を生み出した有力な学校であった。戦後の新制大学設置で工業系の単科大学となる計画もあつた。その実力は十分にあつたが、当時の国の一県一大学の方針に従い、昭和二十四年に新制山形大学に工学部として加わり、今日に至っている。現在でも日本有数の研究水準と規模を誇っている。



東京の月島で生まれ育った吉本にとって、四方を山で囲まれた雪深い盆地にある米沢の風景はまったく予想外のものではあつたのだ。しかし、吉本の人生にとって米沢での生活は非常に大きな意味があつたのである。

賢治の作品に出会う

その一つは、宮沢賢治を知つたことである。賢治フアン友人に賢治の作品を紹介されたことがきっかけで賢治の作品、とくに詩に傾倒するようになる。賢治は土壌や肥料などを研究する農芸化学者であつた。化学を専攻する吉本にはその点も共感できる部分があつた。理系人間で詩人でもある賢治にならうと吉本も盛んに詩を作るようになる。

初期の詩には賢治の影響が見られる。たとえば板谷峠を「プランタニイ峠」と国籍不明の地名として「イーハトーブ」などの地名の付け方にならつたのである。

花巻まで出かけていつて賢治の作品の舞台を歩いたり、応化寮の自室の天井に「雨ニモ負ケズ」を墨書した紙を貼って日夜飽かず眺めていたという傾倒ぶりであつた。

二つ目に言語や社会の本質を考へるきっかけを得たことである。昭和十八年秋、二年生の吉本は近郊の農家に米を買出しに行つた。ところが

先方の言っている言葉の意味が皆目わからない。米沢弁を知っているつもりでいた吉本にとつて大変なショックであつた。

この体験から、吉本は方言の違いと異種族語は「地続き」だという認識を持つことになつた。東北弁は「東北語」鹿兒島弁は「西南語」と言うべきで、言葉の壁の存在を認めることから、それぞれの地域の人々はそれぞれ独自の「共同観念」を持っているといふ後年の「共同幻想論」にながつていったと見られる。

東北の自然に親しむ

最後に東北の自然に接したことである。そのことは吉本の精神の危機を何度か救つた。賢治が生きた自然を米沢の自然にも見いだし「東北の自然」に親しんだ。「色々な苦しいときに、日に幾度も色どりを交える吾妻連峰の山肌を鮮やかに思ひうかべた。人間と人間の入りくんだ心の関係、人間と社会との矛盾の奥深くめり込んでどうにもならないとき、その風景の印象は、わたしの思考を正常さにもどしてくれた」(「昭和十七年から十九年のこと」と述懐している)。

このように、吉本隆明の思想と人生を語るとき、米沢での日々の意味をきちんと押さえておくべきなのである。

第13回文化大学

11月9日(土)
於・東京興譲館

「俳句」の楽しみ方

今生を生きる

米沢有為会俳句同好会

「漆の実」主宰

鈴木淳一

講演は、同氏の俳人としての歩み、俳句に対する思い、歴史における芭蕉の存在などユーモアを交えての迫力ある講話でした。

会の後半は、小山泰氏(「漆の実」同人)の指導で句会となり、出席した全員が事前に提示されていた題で投句し最後は、講師の選句が詠みあげられ歓声が飛び交うなか活気溢れる会は終了しました。

(今井記)

▼講師プロフィール

昭和3年米沢市生れ。同20年米沢興譲館、同昭和23年米沢工専卒。同23年電信電話公社(現NTT)入社。碓・淀橋・世田谷・蒲田電報電話局長を歴任、昭和60年定年退職昭和29年俳句入門。中川糸遊に師事。同56年、楠本憲吉主宰「野の会」に入会。師事。無監査同人。現在…俳誌「漆の実」主宰・米沢工業会誌(山形大学工学部校友会誌)「吾妻俳壇」選者



10月13日、東京興譲館で『俳句の楽しみ方』をテーマに一時半ほど話をしたが、原点である寮生諸君への「俳句の願望」が、一般の人もおられボヤけてしまったので改めて稿を継ぐ。

最近の俳壇は、一見豪華絢爛のごとくに見える。俳句結社も千社ほどあるといわれている。だが実際はどうか。市販されている俳句総合雑誌数誌をめぐっただけでも何十年前の内容と同じ企画で、巻頭句には七十代八十代の作家が旧態依然として三十句、五十句の作品が並んでいるのである。

過日、朝日新聞文化欄に、大きく「若手俳人掘り起こせ」のキャッチフレーズに、現俳壇でのマンネリズムが高齢化とともに俳句界は滅びること、記事にしている、私も全く同感でもあった。俳句の未来のためには若手を掘り起こして育成することが急務だと思ふ。

俳句は「自然も人間の感情もすべて受入れ、プラス思考で作る詩型。俳句の未来のために今できること」をモットーに今回のテーマを決めた。寮生は現在二十名ほどとか。当日は八名が参加予定者にあ

った。後述するが後半は一般の人をも含む三十数名で句会が行われ、私の特選に寮生三人が入っていて非常に嬉しかった。俳句をすすめるといつても掛け声だけでは何もならないので「俳句をやって得をすること十点」をかかげる。今回はその中から五点ほど。

一、青春時代は悩める日々である。将来の事、生活の日々の事、家族の事、肉体の事異性との事。いろいろきりだせば尽きないけれど、俳句はそれを解消できると思う。その一好例として、平成20年2月25日付の朝日新聞に掲載された「ランドセル俳人卒業と夢と」を紹介する。
小学生俳人小林凜(12)は超低出生体重児で生まれた。小学校に入っただけで受け始め、自主休校もした。いつも傍にあったのは幼児から絵本で親しんだ俳句だった。その心のイライラモヤモヤを俳句にして朝日俳壇に投稿した。その作品は

《ゆつくりと花びらになる蝶々かな》 (9歳)

《抜け殻や声なき蟬の贈りもの》 (9歳)

《春嵐賢治のコートなびかせて》 (10歳)

《生れしを幸かと聞かれ春の宵》 (11歳)

《いじめられ行きたし行けぬ春の雨》 (11歳)

環境を変えようと一念発起して中学受験に挑戦した。「俳句と同じくらい集中した」



小林凜君 長谷川權から贈られた句を背に

結果の合格。四月からの新生活を楽しみにしている。自宅の居間には朝日俳壇選者の長谷川權が凜に贈った「小さく生まれて大きく育て雲の峰」

が飾られ、句作りする凜の背中を見守る。がその記事の内容だが、やはりこの世に生を享けたのだからプラス思考で進むべきだろう。俳句はたった五・七・五の世界、超短詩型。いまの自分の気持ちを俳句に託したらどうだろうか。若いときは悩みなんかはいくらでもある、だから人生は面白いくらいの気持ちで心のどつかに余裕を持って欲しい。そのなやみを破棄するところが俳句だと思ふ。挑戦してみて欲しい。

二、俳句はお金がかからない。一般に芸事はお金がかかりやすいが、俳句は、鉛筆一本とノート(メモ用紙)があればよい。あとは自分の人生観へのフイーリングだ。

三、句会はなるべく顔を出すこと。一般にはその俳句結社が主催する句会が月に一回はある。自分で予定を入れ必ず出席すること。自分の職域以外の他

の分野の人と顔を合わせなお俳句を通して人間交流に接する事が、自分の成長過程で必ずプラスになる。貴重な人生経験のプロセスだ。人間の巾が間違いなく広がる。俳句という大きな文芸のジャンルの中で知り得た人間関係はお金では買えない。

四、俳号について

自分のもう一人の人物を作ることが出来る。それが俳号。私は若いころ文彦と号した。初めての句会で私の句が被講されたとき、文彦と名乗ったときの感激いまも覚えている。も一人に自分がそこに居ったからだ。是非もう一人の自分の姿の俳号をもって欲しい。ユニークな人生を送ろう。

五、歳時記について

NHKの俳句用語辞典によれば、歳時記とは、俳句の季語、季題を集め、新年および四季に分類したものに、夫々の季語解説と例句を加えた書籍をいう。俳句実作の手引きであると共に、日本の風土・自然・生活に関する百科事典的な役割も果たしている。と記されている。アメリカのジャーナリストが、あなたが無人島に行くときは何の本を持って行くかアンケートをとったところ、西洋人は「聖書」と答え、日本人は「歳時記」と言ったとされる有名な話がある。ともかく歳時記は俳句を作る手引書だけでなく一生座右の書として傍に置いておくべきだろう。

米沢有為会・文化大学・俳句会

◎ 鈴木主宰選

◎ 北風に今年も響く灯油売り

今井

◎ 雪囲山姥鍋の蓋を開け

丹波

◎ 乾杯の唱和にマスク はづしけり

はじめ

◎ 上り線別れを告げる雪囲い

大浦(舎生)

◎ 雪吊りの鉾にたたくむ驚一羽

怡生

◎ もの云へば恐き時代なりマスクせり

飯沼

◎ 雪囲い夕日と競う後始末

星(舎生)

◎ 風邪の日のやたら晴れたる午後三時

元木(舎生)

◎ 雪囲いはやくどけたい春よ来い

倉田

◎ オフィス街北風ビル風いりみだれ

米野

◎ 雪囲い心を囲い電話とる

はじめ

◎ 風邪隠し控えめに座す同級会

八州史

◎ 雪囲ひしたと葉書来湯宿より

八州史

◎ 北風の黒き雲乗り山裾へ

八州史

◎ 北風(きた)に背を向け山頂の祠かな

はじめ

◎ 朝寝陽ざし洩れ来る雪囲い

飯沼

◎ 街角に北風すさぶ師走かな

川合

◎ 人混みでレジカウスターマスク増え

川合

◎ 通勤でバイクの手袋も冷えにけり

川合

◎ 毛布出しベッド備えて雪囲い

川合

地

天

◎ 雪囲い心をとる

はじめ

◎ 風邪隠し控えめに座す同級会

八州史

◎ 雪囲ひしたと葉書来湯宿より

八州史

◎ 北風の黒き雲乗り山裾へ

八州史

◎ 北風(きた)に背を向け山頂の祠かな

はじめ

◎ 朝寝陽ざし洩れ来る雪囲い

飯沼

◎ 街角に北風すさぶ師走かな

川合

◎ 人混みでレジカウスターマスク増え

川合

◎ 通勤でバイクの手袋も冷えにけり

川合

◎ 毛布出しベッド備えて雪囲い

川合

人

人

◎ 雪囲いされて我が家もほっこりと

郁子

◎ 適語得て思はずマスク外すなり

八州史

◎ 北風に背中まるめてえりを立て

元部町内会長

◎ 北風で鳳凰と鳴く日本海

稲葉(舎生)

◎ 孫の肩祖父のためにと雪囲い

木村(舎生)

◎ 北風の海波浪高きに立ちすくみ

星(舎生)

◎ 息白くきつと故郷では雪囲い

星(舎生)

◎ 思い出とともに取り出す手袋で

星(舎生)

◎ 会釈されマスクと帽子誰かしら

倉田

◎ 放射能に花粉にマスクビールも

飯沼

◎ 冬仕度丸太運ぶか雪囲い

飯沼

◎ 雪囲い一番いやな季節くる

飯沼

◎ 片方の手袋だけが残ってる

飯沼

◎ などの風潮の香り柿いろに

飯沼

◎ マスクして思いがけない美人かな

本田(舎生)

◎ 冬来たる急げや急げ雪囲い

本田(舎生)

◎ 雪囲い子らは炬燵で暖をとり

相澤(舎生)

◎ 霜月の足先しみる北の風

相澤(舎生)

新会員 自己紹介



松川 儒

ピアニスト

遠くて近い米沢有為会

東京藝術大学附属音楽高校を経て、東京藝術大学音楽学部ピアノ科を卒業。

その後、ドイツ・シュトゥットトウガルト国立音楽大学大学院、ドイツ・カールスルーエ国立音楽大学大学院リト科を修了。

藝大在学中より活動開始し、帰国後は国内外はもとより客船の国際航路に乗船し演奏活動を広げている。

文化大学「俳句の楽しみ方」に参加して

入間町二丁目自治会長 元部欽司

生れて初めての経験で、少しばかり戸惑いでしたが、取り組んでみるのも一興と挑戦しました。出来栄の程は如何せん知る由もなく、頭に浮かんだままに表現した次第です。

◎ 手袋に寒さ取らせてはつとせり
早朝、学童の交通指導に出動の際、自転車のハンドルの冷たさに、手袋着用となったが、冷たさを排除したことで、「よし、今日も頑張るぞ」との思いが増し、心も体も温まった。

いては音楽助手・副指揮者として参加する。

国内外で数種のテレビ収録、ラジオまたCD等の録音がある。第11回シューマン国際コンクール公式ピアニスト(2014) / (2015)

03年より足掛け5年に渡った世界初の試み「ヴォルフ歌曲全曲演奏会・全12回」では企画者&ピアニストとして全シリーズを担当し、その功績で平成19年度文化庁芸術祭・音楽部門【大賞】を受賞。

現在、玉川大学芸術学部准教授・洗足学園音楽大学非常勤講師

同好会活動

俳句同好会「漆の実」

平成二十六年十一月二二日

兼題 初冬 茶の花 席題 冬帽子

残照の初冬の波止場カモ截る

鈴木淳一

茶の花の床に一輪日和なり

池田弁之助

初冬や布を重ねし刺子技

太田甘美

折られける茶の花残す香の清し

下修怡生

糶り声に居合の間あり冬初め

小山八州史

バスを待つ姉妹今日から冬帽子

中川はじめ

ハチ公の腹さすり居る冬帽子

登坂かりん

茶の花や素顔は見せず凛と咲く

濱田扇風

幾度も花を見せし知覧の茶

松坂六義



短歌同好会「古今小杉短歌会」

もみぢかる樹樹の随道鎌倉の文学館で方代に会ふ

誘蛾灯しろく灯りてひぐらしも埒につきしか古墳しずもる

師・歌人(香川三枝(古今))

はかなさを色にだしたか秋桜のうす桃色のそのうすさ良し

一輪のコスモス残りはるかなる時の向うの友想い居る

(吉田教馬)

山梨の瑞牆山は岩なるも肩から下は錦秋の衣

果樹園で同期の友と飲むコーヒー紅葉狩りでの疲れ癒さん

(嶋貫昭雄)

いずこより金木犀の香りたつ兄の棺に入れし遠き日

菊の花「もってのほか」と名づけられその名に恥じ美味をふるまふ

(近藤郁子)

仲の良き姉妹と言はれ七十年当たり前でも少し誇らし

うな重が浮かんで消えた今日の日はいい夫婦の日うどん引つ張る

(樋渡三保子)

東京支部・米沢有為会「史談会」第一回開催

去る十月二十五日、東京興譲館会議室に於いて当「史談会」同好会員による第一回の会合が行われました。

会場には、五年前の百二十周年記念祝賀会に展示された上杉家や有為会の史資料等、先人諸侯に関する諸史資料閲覧に始まり、各人より自己紹介とご先祖様との系譜にちなむ貴重な資料等の紹介があった上、左記の本会の目的と活動内容が確認されました。なお、会の後半は懇談、懇親飲み会で盛り上がりました。

本会の「趣旨」米沢有為会東京支部会員を主体として、郷土・米沢にちなみ、米沢有為会に縁りの先人諸侯を偲び、その史的考察をしながら懇談交流する会。

【活動】①米沢と有為会に因む先人諸侯に関する図書、諸史料を蒐集し、それらの史資料等を次世代の有為会会員に伝承するため有為会事務所等に保管する活動。

②本会の趣旨と上記の活動を通して当会員の親睦と交流を図る活動です。

○当日お集まりの同好会員は次のメンバーでした。

櫻井通義氏(越後上杉上田五十騎組武將・櫻井晴吉のご子孫、川越市住)

櫻井泰之氏(宮島誠一郎一族、湯野川家ご子孫、葛飾区住)

関口真博氏(宮島誠一郎一族、保科家ご子孫、千葉県白井市住)

宮島誠夫氏(宮島誠一郎の弟・宮島季四郎の曾孫、鎌倉市住)

登坂佳永氏(越後上杉上田五十騎組武將・登坂藤右衛門のご子孫、練馬区住)

池田謙自氏(東京支部俳句会会員、元米沢工業会東京支部長、練馬区住)

宮島大介氏(宮島誠一郎直系の曾孫、渋谷区代々木の善隣書院宮島家本家敷地住、宮島大介氏はこの機に有為会に入会されました)

宮坂孝夫氏(東京支部理事、支部だより編集委員、練馬区住)

鈴木脩二(「史談会」世話人、船橋市住)

☆上杉邦憲名誉会長には本会の名誉顧問を受けて戴いております。

※十月刊行の「米沢有為会誌」復刊第64号に特別寄稿として「米沢藩士宮島誠一郎にとつての戊辰戦争」と題し、東北大助教・友寄田昌宏氏から当「史談会」に寄稿のあった宮島誠一郎評伝が掲載されています。

★今後の活動予定として、右の友田昌宏氏の東京滞住の折をみて「史談会」にお招きし懇談したく思っております。

★ついでには、支部会員で「史談会」に興味ある方を募集しております。ご連絡お待ちしております。

「史談会」世話人 鈴木記



米沢有為会「史談会」第1回会合 平成26年10月25日 於：東京興譲館

鈴木記、宮坂孝夫、登坂佳永、池田謙自、関口真博、櫻井泰之、櫻井通義

前田慶次



宝塚歌劇100周年記念 雪組公演鑑賞ツアー
 「一夢庵風流記 前田慶次」
 米澤前田慶次の会では今年8月8日宝塚鑑賞ツアー企画し会員男性7名女性3名が参加した。雪組による宝塚傾奇者絵巻として隆慶一郎原作の「一夢庵風流記前田慶次」を東京公演した。雪組のトップスターである壮一帆の退団講演でもあった。8月1カ月昼夜合わせて45回の公演は満員の盛況であった。

原作を忠実に演じた壮は魅力的で素晴らしかった。屋敷に現れた利家をお茶に誘い一計をもつてもてなしたのだった。怪馬松風が時々現れるが、本物でなく苦勞の末の二人役者で前足役後ろ足役がいて危なかしかったが乗れる馬であった。利家の妻であるまつとの恋舞台も見ものであった。秀吉との傾奇比べというか大ばくちをする場面も

ハラハラさせられた。晴れて天下御免の傾奇者となった慶次である。時は流れ・・・秀吉の死後関ヶ原の戦いで最上を攻めていた兼統率いる上杉軍は西軍が破れ、兼統自刃を覚悟した。その時敵を蹴散らしながら、赤柄の長槍を振り回し活躍する慶次が現れる。あつという間にステージは終わり、マイドリームタカラヅカステージとなり100人による歌と踊り、最後は恒例のライندگانで終了となった。ほとんどの観客は女性で、男性は1割もいなかったが素晴らしいステージを久しぶりに鑑賞できてよかった。これも前田慶次のおかげである。

米澤前田慶次の会長
梅津幸保

フラワー長井線 開通100周年記念にあたって

大正3年(1914) 11月15日 赤湯と長井間の鉄道が開通、「軽便鉄道長井線」が誕生して、今年、100周年を迎えました。

軽便鉄道とは一般鉄道より低規格で安価に建設できたところで、当時の長井線は、煙突の長い豆機関車で、客車は俗にマッチ箱といわれた小型のものでしたが、住民の喜びは大きく、大正3年11月15日快晴の秋晴れに恵まれ町中が賑わった。明治10年代から夢に描いた文明の輸送機関である鉄道が開通して、汽笛の音を直に聞くのであるから、今の長井市の全域はもろろん白鷹町の全町村からも老若を問わず見物に訪れ、長井町始まって以来の人出となった。仮装行列が目抜き通りを練り歩き、駅前通りの身動きも出来ない程のありさまであった。長井町史は伝えていきます。

大正12年(1923) 終点荒砥までの全線30kmが開通し現在の長井線が完成しました。しかし、モーターゼーションが進み、昭和40年代後半には、乗降客は激減し、利用者の大部分が通学高校生だけとなって行きました。

昭和43年に国鉄の廃止路線の検討対象となり同年6月廃止を憂える有志により「長井線存続期成同盟」が発足しました。

平成元年10月24日、JR長井



長井線開通の長井駅での祝賀風景



開通した頃の宮内町駅構内

線は廃止となり、4月に設立された山形鉄道株式会社が行を引継ぎ、翌日から路線名を「フラワー長井線」と改めて、新たなスタートを切りました。

今年7月に襲った台風により、一時、「全線運転見合わせ」というめったにない災害に見舞われました。11月15日の100周年記念行事が挙行されました。(会員・菅野昭彦)

法人賛助会員募集

米沢有為会が公益社団法人に移行したことを受け、会員拡充の一環として法人賛助会員の募集に努めております。法人賛助会員になっていただけそうなお客の企業等をご紹介頂ければ幸いです。よろしくお願ひします。

(総務部長 平山 英三)

本部役員・支部役員推薦のお願い

平成27年6月総会で本部・支部役員が任期満了となります。よって、新役員の選任にあたり、会員の皆様より自薦他薦を問わず新役員の募集をいたします。平成27年1月10日まで「本部役員・支部役員」の区別・理事監事の区別・候補者氏名・推薦理由を記載(10名前後)、「推薦人名明記の上、フアックス又はメール」でお願いいたします。

本部役員につきましては本部役員選考委員会へ東京支部の意見として報告させていただきます。又支部役員につきましては支部理事選考委員会へ報告し役員選考の資料とさせていただきます。

倉としと パニージャックスによる東京コンサート

日 2015年4月13日(月) 開演18時
 場 渋谷区文化総合センター大和田 渋谷区桜丘町23-21
 ケット ￥4,000
 主催/東京「としの会」
 問合先 坂俊後男 Tel 090-3464-3381
 E-mail: numatokoro@gmail.com

